

カーフリーデー イベントで実感

横浜公園など

クルマに依存する社会を
見直し、快適で環境にやさ



しいライフスタイルを提唱するイベント「横浜カーフリーデー2011」(同実行委員会主催)が23日、横浜市中区で開かれた。

8回目を迎え、秋の恒例イベントとして定着したカーフリーデー。横浜公園や車両通行止めとなった日本大通りでは、東海大学のソーラーカーや電気自動車

(EV)の展示、太陽熱利用のクッキング、パレードなどが繰り広げられた。写真。

大内えりか実行委員長は「マイカーが家で留守番をする暮らしは、安心安全のまちづくりにもつながる」。東京都市大学が研究を進めている水素燃料エンジンバスに試乗した木菱美玲さん(11)は「同市南区は「静かで二酸化炭素を出さない乗り物が早く広がってほしい」と話した。

来場者は秋風がそよぐ街を歩きながら、車が走らない都市空間の魅力を再発見していた。(香川 直幹)